
時空を越えて - TimelagTraveler -

ひまわりおじさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時空を越えて - Time Lag Traveler -

【Nコード】

N1928M

【作者名】

ひまわりおじさん

【あらすじ】

ここは何処だ？

いきなり裁判に！

俺は殺されてしまうのか？

先の読めないNonstopSF

第？話・判決

あれは一ヶ月前のことだった。

「きつ貴様！なにをしやがる！」

ふと気が付くと、俺はよくわからない空間にいた。

「いついや、なにもしてないけど、ゝゝ。」

目の前の女に言い返した。

「よくもおぬし、それが狙いだっただのか！」

全く意味の分からないまま数人の男に囲まれた。

「捕らえる?!」

掛け声と共に男達が襲いかかって来た。その瞬間に記憶が途絶えた。

「ここは何処だ？」

目が覚めると俺は、薄暗い部屋に閉じ込められていた。

「誰か?。出してくれ！」

叫ぶ。が誰も応答しない。一体ここは何処なのか。

しばらくすると、一人の男が来た。ガチャガチャツと簡素な鍵はすぐ開けられた。

「おい出る！」

言われるまま後をついていく。

「お前は切り落としの刑だ！」

周りからのざわついた声が妙に自分を苛立たせると同時に困惑した。

「それでは判決だー！」

俺はいつの間にか裁判の加害者になっていた。

「判決を下す。」

バクバクと高鳴る心臓。

「何故俺はこんな目に？」

そればかり考えていた。いきなり裁判に掛けられた俺は、判決を下された。」

「お前は死刑？切り落とし？執行だ！」

「！？」

俺は余計に困惑してしまった。

「では、ただ今から刑を執行します。」

高台に連れられた俺は、

一人の男の隣に立たされた。

「執行ー！！」

合図と共に男の持つている日本刀らしき刀がこっちに向いた。

「ビュン」という音をたてた瞬間に意識が遠のいた。

「！？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1928m/>

時空を越えて - TimelagTraveler -

2010年10月28日07時17分発行